

一 正月九日、從江戶年頭之奉書到來付而相模守殿町奉行宅江參上のしめ麻上下也、則今朝年始振廻有之、但九日已前用事有之、相模守殿宅江參候節、小袖羽織たるべし、上下は其時之様子に
よるべき事

一 正月九日已後、定番衆其外江年始之振廻之節、袴羽織之事、
二年頭は勿論御番替、暇乞振廻之時、家老并取次之者上下之事、
一 右振廻之節、塗三方にて熨斗鮑出候事、

已上

右兩通は、大坂在番大番頭手前之扣寫、

〔續百一録〕延享三年正月十三日 一尊勝院様諸禮、尊勝院様より爲御祝儀、一兩日前に昆布牛房

樽一荷、五升入二ツ、獻立 あへませ、大こん人じんいわたけ、汁あふみかぶ、煮物牛房玉子、飯引而かうの物、こくまやうん、木くらげ、干かも、人じ湯だうふ、重引あさづけ、御吸物、だけ肴、

し、の中通侍衆上之通、下部之者、やし鱒、取肴、かまぼこ、數、鹽小鯛、やし物、汁さく、煮物だう

ふ、肴、牛房、數の子、あ

一 烏丸様へ、今日御節ニ付、遐壽丸様烏丸へ御出ニ付、鯛一折、三御持參候、

十六日 一 烏丸様、日野家へ御出節也、略 御口祝のぶし、御吸物ひれ、御盃、御銚子、御肴からすめ

み、ゆ御くわしけん、みん、ひ、やう、か 夕御膳 御鱒きすこ、大こん、あか、い、御汁、うけ、ごぼ、う、は 口物

か、も、う、ぐ御かうの物、御飯、御二さしみ、霜ふり、だい、み、い、り、酒、い、か、の、細、作、すまし、汁、み、ら、引、物

び、す、な、う、ぐ御かうの物、御飯、御二さしみ、霜ふり、だい、み、い、り、酒、い、か、の、細、作、すまし、汁、み、ら、引、物

や、き、物、臺、引、う、ぼ、平、う、ぼ、御銚子、肴た、こ、が、い、す、まし、吸、物、び、青、ミ、わ、湯、御、く、わ、し、か、う、た、け、く、す、こ

い、茶

正月御祝之御獻立 御三方ひし、は、な、し、御、雜、煮、くり、ひ、ら、き、豆、餅、が、し、ら、く、し、を、大、こん、い、も、い、も